

帯状疱疹で入院される方へ 治療計画書 クリニカルパス 《患者様用》



様 平成 年 月 日 担当医師 担当看護師

日付	(/)日	(/)日~(/)日	(/)日~(/)日	(/)日
日程	外来	入院1日目~4日目	入院5~7日目	退院日(入院8日目)
安静度		病院内フリーですが、なるべく安静にしてください トイレに行く以外は安静にしましょうと説明された方は安静にしてください		
治療・処置	☆発疹部・びらん部を軟膏ガーゼで保護する場合があります 血管に点滴の留置針を入れます	☆抗ウィルスの点滴を腎機能の状態をみて1日1~3回行います 点滴は1時間以上かけてゆっくりおこないます ☆発疹部・びらん部のガーゼ交換を医師又は看護師が行いません 普段内服しているお薬がある場合は薬剤師・看護師にお伝えください 場合により、中止または変更する場合があります 痛みに対して内服薬による治療を開始します。副作用が強い場合は内服薬を変更・調整します 痛みどめの薬に、ふらつきや眠気の副作用があります。ふらつくときは、看護師を呼んでください。お手伝いします。 痛みがあっても冷やすことは避け、暖めた方が血流が良くなり楽になります。	点滴をします ガーゼの交換が必要な場合は、医師か看護師が1日1回行います	点滴を終了し針を抜きます 痛みに対しては内服治療を退院後も続行することがあります ☆入院日数は個人差があります
検査	症状の応じて採血を行います 心電図・レントゲンの検査を行います	病状に応じた検査を行います		
食事		病状に応じた食事が指示される場合は、医師又は看護師から説明があります		
清潔		シャワーは可能です。点滴挿入部は濡れないように看護師が保護します シャワー時間は、朝の9時から16時までになります しんどいときは週2回、体を拭きます ☆発疹部を強くこすらないようにしてください ☆水疱は破らないようにしましょう。細菌感染を起こしやすくなります	シャワー可能です	退院後は入浴が出来ます
説明	医師から入院の説明があります 入院病棟や入院時間が決まり次第看護師が説明します	身長・体重を測ります。リストバンドをつけます。 入院治療計画書をお渡します。署名をお願いします 入院生活・病棟についての説明をします 小さいお子さんの面会は避けましょう。 ☆分からないことがありましたら、主治医・看護師にお尋ねください		退院後の治療や外来受診について説明します 診断書は、2階文書窓口で手続きして下さい 退院療養計画書をお渡しします 退院会計はコンシェルジュが説明します 退院の説明は看護師がします
指導	合併症の症状について 医師・看護師に知らせて欲しい内容	以下のような症状があれば、ヘルペス脳炎・髄膜炎・神経麻痺などの可能性があります。 ☆帯状疱疹ができている側と反対側の頭痛、吐き気、食欲低下 ☆帯状疱疹ができている側の動きが悪い ☆食べたり飲んだりしにくい、咳き込む、むせる。 ☆口から飲み物がこぼれる。目が閉じない。顔が左右で違う。しわができない。口の動きがおかしい。 ☆耳が聞こえにくい。耳鳴りがする。めまいや歩行時ふらつく ☆おしっこや便が出にくい。 ☆目の痛み・ゴロゴロ感・充血・まぶしさ・瞼の腫れ・ものが二重に見える 上記の症状以外にも、何かいつもと違う事があれば、ウイルスによる神経麻痺が起こっている可能性があります。		